

ほくとしんきん中小企業景況レポート

(第 86 回)

令和 6 年 1~3 月期実績／令和 6 年 4~6 月期見通し

特別調査「中小企業における人材戦略について」

- 調査時点：令和 6 年 3 月上旬
- 調査方法：原則として当金庫職員による聞き取り調査
- 地区区分：丹後地区（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）、舞鶴地区（舞鶴市）、
福知山・綾部地区（福知山市、綾部市、京丹波町）
- 依頼数：570 先
- 回答数：544 先（回答率 95.4%）
- 分析方法：各質問項目について、「増加（良い）」－「減少（悪い）」の構成比の差。
業況判断 D. I.（Diffusion Index）に基づく分析。
- 地区別・業種別回答数

業種	丹後地区	舞鶴地区	福知山・綾部地区	全地区
製造業	60	27	43	130
卸売業	16	15	24	55
小売業	45	30	53	128
サービス業	40	31	33	104
建設業	28	28	46	102
不動産業	6	10	9	25
合計	195	141	208	544

令和 6 年 4 月

京都北都信用金庫

経営企画部 経営企画課

1. 概要

■ 京都府北部の業況判断 D. I. の推移（業種別・地区別）

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
全地区（京都府北部）	△ 32.1	△ 27.2	△ 26.1	△ 19.1	△ 28.7	△ 9.6	△ 31.2
製造業	△ 28.6	△ 26.2	△ 26.9	△ 22.2	△ 38.5	△ 16.3	△ 33.1
卸売業	△ 45.6	△ 32.1	△ 34.5	△ 24.1	△ 47.3	△ 23.2	△ 50.9
小売業	△ 46.6	△ 39.4	△ 32.8	△ 31.0	△ 43.0	△ 12.0	△ 40.2
サービス業	△ 34.9	△ 21.0	△ 19.2	△ 6.7	△ 19.2	△ 12.5	△ 25.3
建設業	△ 16.8	△ 24.0	△ 22.6	△ 13.9	△ 3.9	10.0	△ 24.8
不動産業	3.7	4.0	△ 11.5	△ 4.0	△ 4.0	0.0	16.0
丹後地区	△ 36.0	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	△ 33.3	△ 17.2	△ 29.5
舞鶴地区	△ 33.1	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	△ 29.8	△ 8.4	△ 27.7
福知山・綾部地区	△ 27.6	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	△ 23.6	△ 3.2	△ 35.3
日銀短観(全国)	5.0	8.0	10.0	13.0	12.0	△ 1.0	9.0
日銀短観(京滋)	7.0	9.0	5.0	11.0	9.0	△ 2.0	8.0
信金中金(全国)	△ 13.9	△ 7.4	△ 7.0	△ 3.3	△ 9.3	△ 6.0	△ 5.4

- 京都府北部の今期（令和6年3月期）の業況判断 D. I. は、前期比 9.6 ポイント低下の△28.7となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業が悪化し、なかでも卸売業は同 23.2 ポイント低下の△47.3となりました。
- 地区別では、全地区が悪化し、なかでも丹後地区は同 17.2 ポイント低下の△33.3となりました。
- 信金中央金庫（全国）の業況判断 D. I. は、同 6.0 ポイント低下の△9.3となり、当金庫調査の業況判断 D. I. を 19.4 ポイント上回りました。
- 京都府北部の来期（令和6年6月期）の予想業況判断 D. I. は、今期実績比 2.5 ポイント低下の△31.2とやや悪化する見通しです。

■ 丹後地区の業況判断 D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
丹後地区	△ 36.0	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	△ 33.3	△ 17.2	△ 29.5
製造業	△ 24.6	△ 11.5	△ 19.4	△ 22.4	△ 35.0	△ 12.6	△ 30.0
卸売業	△ 31.3	△ 37.5	△ 13.3	△ 20.0	△ 68.8	△ 48.8	△ 43.8
小売業	△ 51.1	△ 29.8	△ 19.1	△ 11.1	△ 42.2	△ 31.1	△ 35.6
サービス業	△ 26.8	△ 12.2	△ 9.8	0.0	△ 15.0	△ 15.0	△ 20.5
建設業	△ 42.9	△ 18.5	△ 32.1	△ 32.1	△ 21.4	10.7	△ 37.0
不動産業	△ 71.4	△ 33.3	△ 50.0	△ 16.7	△ 33.3	△ 16.6	33.3

- 丹後地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 17.2ポイント低下の△33.3となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、不動産業が悪化し、なかでも卸売業は同48.8ポイント低下の△68.8となりました。

■ 舞鶴地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
舞鶴地区	△ 33.1	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	△ 29.8	△ 8.4	△ 27.7
製造業	△ 42.9	△ 35.7	△ 48.2	△ 29.6	△ 40.8	△ 11.2	△ 33.3
卸売業	△ 56.3	△ 43.8	△ 73.3	△ 26.7	△ 46.7	△ 20.0	△ 66.7
小売業	△ 41.9	△ 50.0	△ 36.7	△ 46.7	△ 46.7	0.0	△ 40.0
サービス業	△ 37.5	△ 28.1	△ 21.9	△ 9.4	△ 45.2	△ 35.8	△ 32.3
建設業	△ 17.9	△ 21.4	△ 3.6	7.4	17.9	10.5	10.7
不動産業	30.0	10.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 10.0	23.3	△ 10.0

- 舞鶴地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 8.4ポイント低下の△29.8となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、サービス業が悪化し、なかでもサービス業は同 35.8ポイント低下の△45.2となりました。

■ 福知山・綾部地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
福知山・綾部地区	△ 27.6	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	△ 23.6	△ 3.2	△ 35.3
製造業	△ 25.0	△ 41.5	△ 24.4	△ 17.1	△ 41.9	△ 24.8	△ 37.2
卸売業	△ 48.0	△ 20.8	△ 24.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 8.3	△ 45.8
小売業	△ 45.3	△ 41.8	△ 43.1	△ 38.9	△ 41.5	△ 2.6	△ 44.2
サービス業	△ 42.4	△ 25.0	△ 29.0	△ 12.9	0.0	12.9	△ 24.2
建設業	0.0	△ 28.9	△ 28.3	△ 15.2	△ 6.5	8.7	△ 39.1
不動産業	30.0	22.2	10.0	30.0	22.2	△ 7.8	33.3

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 3.2ポイント低下の△23.6となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業、不動産業が悪化し、なかでも製造業は同 24.8ポイント低下の△41.9となりました。

2. 京都府北部の業種別景況

① 全業種

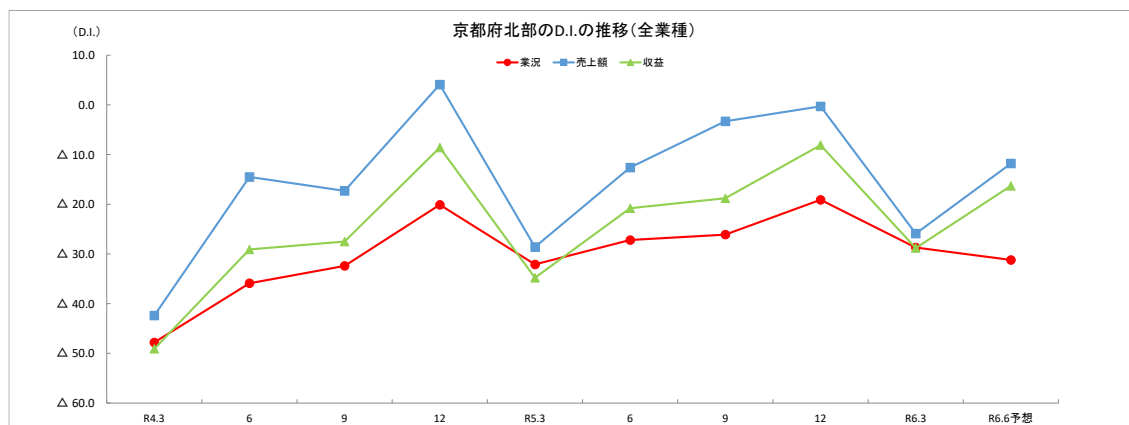
■ 全業種のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 32.1	△ 27.2	△ 26.1	△ 19.1	△ 28.7	△ 9.6	△ 31.2
売上額	△ 28.6	△ 12.6	△ 3.3	△ 0.3	△ 25.9	△ 25.6	△ 11.8
収益	△ 34.8	△ 20.8	△ 18.8	△ 8.1	△ 28.8	△ 20.7	△ 16.3
販売・請負価格	22.3	22.6	25.6	28.7	17.3	△ 11.4	13.3
仕入・材料価格	69.1	59.3	59.0	54.3	47.1	△ 7.2	43.8
在庫	5.8	2.3	0.5	2.1	0.9	△ 1.2	0.4
資金繰り	△ 22.6	△ 17.2	△ 19.0	△ 16.6	△ 21.0	△ 4.4	△ 19.2
前年同期比売上額	△ 6.5	△ 4.2	△ 3.9	△ 10.0	△ 16.0	△ 6.0	-
前年同期比収益	△ 27.3	△ 16.5	△ 18.8	△ 19.7	△ 20.2	△ 0.5	-
残業時間	△ 2.7	△ 10.9	△ 6.9	△ 0.9	△ 5.9	△ 5.0	△ 7.7
人手	△ 31.8	△ 29.1	△ 30.2	△ 34.1	△ 29.7	4.4	△ 32.7
借入実施割合 (%)	15.7	17.4	19.0	20.5	21.5	1.0	17.3

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△8.3、最低値：平成21年6月期の△68.3

- 京都府北部の業況判断D.I.は、前期比9.6ポイント低下の△28.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同25.6ポイント低下の△25.9となりました。
- 収益判断D.I.は、同20.7ポイント低下の△28.8となりました。
- 来期（令和6年6月期）の予想業況判断D.I.は、今期実績比2.5ポイント低下の△31.2とやや悪化する見通しです。



■ 全業種：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	48.0 (①45.3)	経費の節減	48.0 (①46.2)
人手不足	34.7 (②32.3)	人材の確保	34.2 (②35.3)
原材料高	25.6 (③31.4)	販路の拡張	34.0 (③32.1)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 製造業

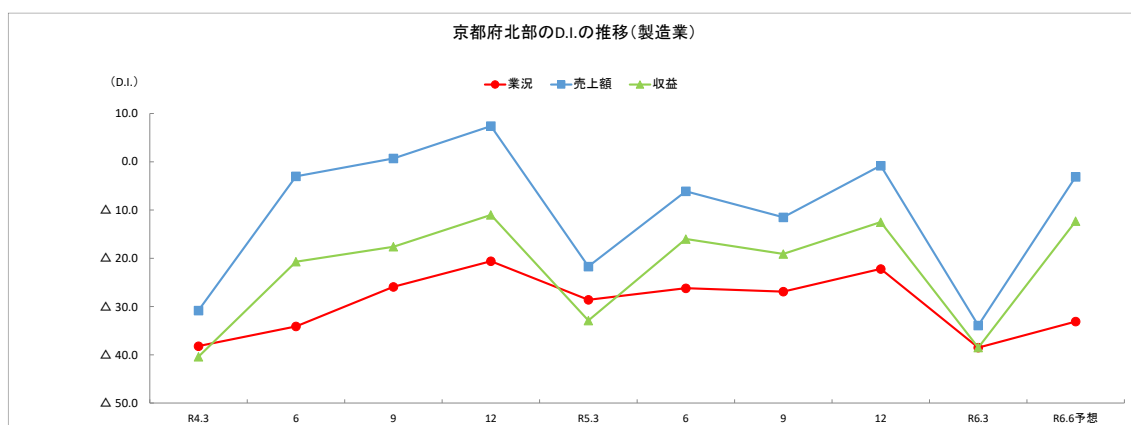
■ 製造業のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 28.6	△ 26.2	△ 26.9	△ 22.2	△ 38.5	△ 16.3	△ 33.1
売上額	△ 21.7	△ 6.1	△ 11.5	△ 0.8	△ 33.9	△ 33.1	△ 3.1
受注残	△ 17.3	△ 8.5	△ 13.9	△ 13.3	△ 21.7	△ 8.4	△ 13.2
収益	△ 32.9	△ 16.0	△ 19.1	△ 12.5	△ 38.5	△ 26.0	△ 12.3
販売価格	25.4	23.9	15.5	20.4	14.0	△ 6.4	14.0
原材料価格	69.2	57.1	46.8	45.6	46.9	1.3	43.0
原材料在庫	9.0	3.1	2.3	3.9	5.5	1.6	3.9
資金繰り	△ 23.9	△ 16.9	△ 15.4	△ 14.1	△ 24.6	△ 10.5	△ 16.2
前年同期比売上額	1.5	6.9	△ 3.1	△ 5.5	△ 20.0	△ 14.5	-
前年同期比収益	△ 29.3	△ 8.4	△ 21.5	△ 17.3	△ 26.9	△ 9.6	-
残業時間	△ 5.2	△ 14.0	△ 13.2	△ 6.3	△ 17.1	△ 10.8	△ 15.5
人手	△ 26.9	△ 16.2	△ 17.6	△ 21.4	△ 16.3	5.1	△ 23.3
借入実施割合 (%)	9.7	15.4	13.0	13.3	13.1	△ 0.2	12.5

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.2、最低値：令和2年6月期の△79.0

- 製造業の今期の業況判断D.I.は、前期比16.3ポイント低下の△38.5となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「食料品」が同20.0ポイント低下の0.0、「一般機械器具」が同29.4ポイント低下の△29.4、「繊維工業」が同7.1ポイント低下の△35.7となりました。
- 売上額判断D.I.は、同33.1ポイント低下の△33.9となりました。
- 収益判断D.I.は、同26.0ポイント低下の△38.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比5.4ポイント上昇の△33.1とやや改善する見通しです。



■ 製造業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	48.5 (②46.0)	経費の節減	46.9 (①46.0)
原材料高	36.9 (①50.0)	販路の拡張	45.4 (②45.2)
人手不足	31.5 (③25.4)	人材の確保	33.1 (③31.7)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 卸売業

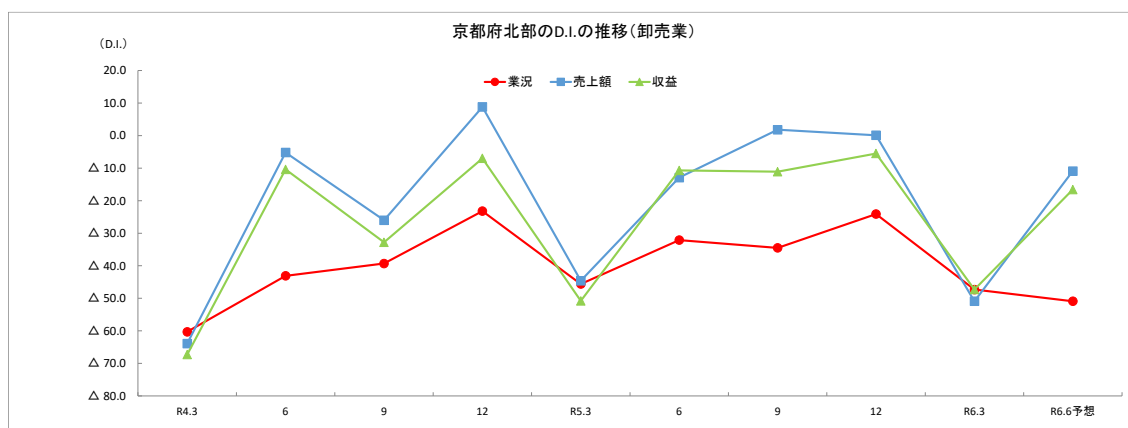
■ 卸売業のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 45.6	△ 32.1	△ 34.5	△ 24.1	△ 47.3	△ 23.2	△ 50.9
売上額	△ 44.6	△ 12.9	1.8	0.1	△ 50.9	△ 51.0	△ 10.9
収益	△ 50.8	△ 10.7	△ 11.1	△ 5.5	△ 47.3	△ 41.8	△ 16.6
販売価格	47.4	50.0	40.7	37.0	25.5	△ 11.5	36.3
仕入価格	65.0	60.7	55.6	42.6	40.1	△ 2.5	54.6
在庫	31.6	17.9	29.6	24.1	25.5	1.4	21.8
資金繰り	△ 24.6	△ 16.1	△ 20.4	△ 25.9	△ 27.3	△ 1.4	△ 25.5
前年同期比売上額	△ 3.5	△ 12.5	△ 9.1	△ 7.4	△ 23.6	△ 16.2	-
前年同期比収益	△ 28.1	△ 21.4	△ 10.9	△ 22.2	△ 14.5	7.7	-
前年同期比販売価格	66.7	62.5	51.9	61.1	54.5	△ 6.6	-
残業時間	△ 3.6	△ 7.4	△ 5.8	7.5	△ 5.7	△ 13.2	1.9
人手	△ 23.2	△ 30.9	△ 14.8	△ 35.2	△ 31.5	3.7	△ 38.2
借入実施割合 (%)	14.0	19.6	22.2	22.2	16.4	△ 5.8	20.4

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成26年12月期の△10.9、最低値：令和2年6月期の△81.0

- 卸売業の今期の業況判断D.I.は、前期比23.2ポイント低下の△47.3となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建築材料」が同29.5ポイント低下の△46.2、「食料・飲料」が同58.4ポイント低下の△41.7、「機械器具」が同16.7ポイント上昇の△25.0となりました。
- 売上額判断D.I.は、同51.0ポイント低下の50.9となりました。
- 収益判断D.I.は、同41.8ポイント低下の△47.3となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比3.6ポイント低下の△50.9とやや悪化する見通しです。



■ 卸売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	60.0 (①48.1)	経費の節減	60.0 (①53.7)
取引先の減少	27.3 (⑤22.2)	販路の拡張	54.5 (①53.7)
同業者間の競争の激化	23.6 (②31.5)	情報力の強化	27.3 (③37.0)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

④ 小売業

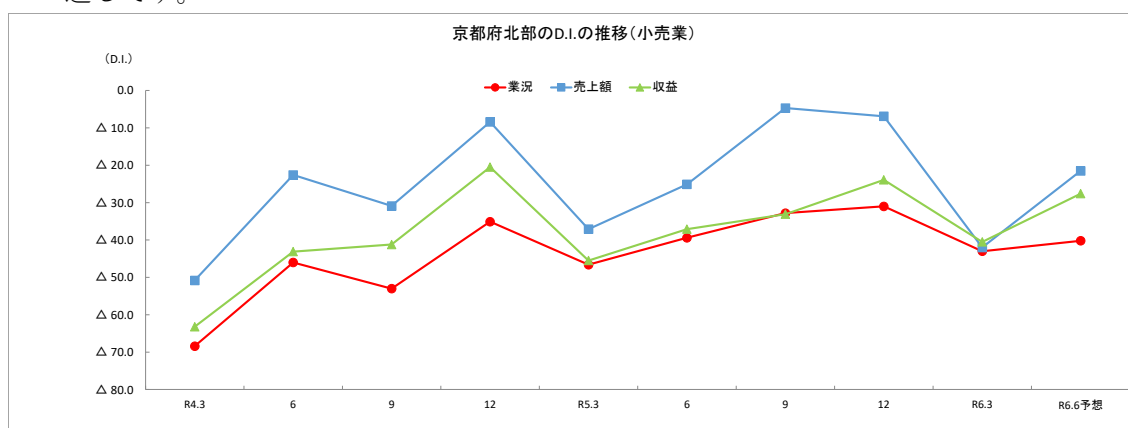
■ 小売業のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 46.6	△ 39.4	△ 32.8	△ 31.0	△ 43.0	△ 12.0	△ 40.2
売上額	△ 37.1	△ 25.1	△ 4.7	△ 6.9	△ 42.0	△ 35.1	△ 21.5
収益	△ 45.5	△ 37.1	△ 33.1	△ 23.9	△ 40.5	△ 16.6	△ 27.6
販売価格	38.6	25.0	42.5	49.2	32.1	△ 17.1	26.1
仕入価格	70.0	58.9	76.6	63.7	51.0	△ 12.7	47.7
在庫	1.5	△ 1.5	△ 4.7	△ 3.8	△ 8.4	△ 4.6	△ 7.7
資金繰り	△ 32.3	△ 31.1	△ 29.9	△ 27.7	△ 33.3	△ 5.6	△ 29.7
前年同期比売上額	△ 19.5	△ 9.9	0.0	△ 16.2	△ 20.2	△ 4.0	-
前年同期比収益	△ 36.8	△ 25.2	△ 25.8	△ 33.1	△ 26.4	6.7	-
前年同期比販売価格	54.1	45.0	63.8	55.4	54.3	△ 1.1	-
残業時間	△ 7.6	△ 9.9	0.8	2.3	△ 4.6	△ 6.9	△ 3.1
人手	△ 24.4	△ 29.5	△ 27.2	△ 27.1	△ 26.7	0.4	△ 26.0
借入実施割合 (%)	13.7	13.0	14.5	18.6	17.7	△ 0.9	8.9

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年9月期の△26.1、最低値：平成21年3月期の△78.4

- 小売業の今期の業況判断D.I.は、前期比12.0ポイント低下の△43.0となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「飲食料品」が同11.7ポイント低下の△37.5、「燃料」が同24.2ポイント低下の△54.6、「自動車・自転車」が同41.1ポイント低下の△52.9となりました。
- 売上額判断D.I.は、同35.1ポイント低下の△42.0となりました。
- 収益判断D.I.は、同16.6ポイント低下の△40.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比2.8ポイント上昇の△40.2とやや改善する見通しです。



■ 小売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	57.0 (①58.9)	経費の節減	57.8 (①55.0)
人手不足	25.0 (④21.7)	品揃えの改善	30.5 (②32.6)
値上げ要請	23.4 (②27.1)	売れ筋商品の取扱い	24.2 (④19.4)
利幅の縮小	23.4 (③25.6)	—	—

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑤ サービス業

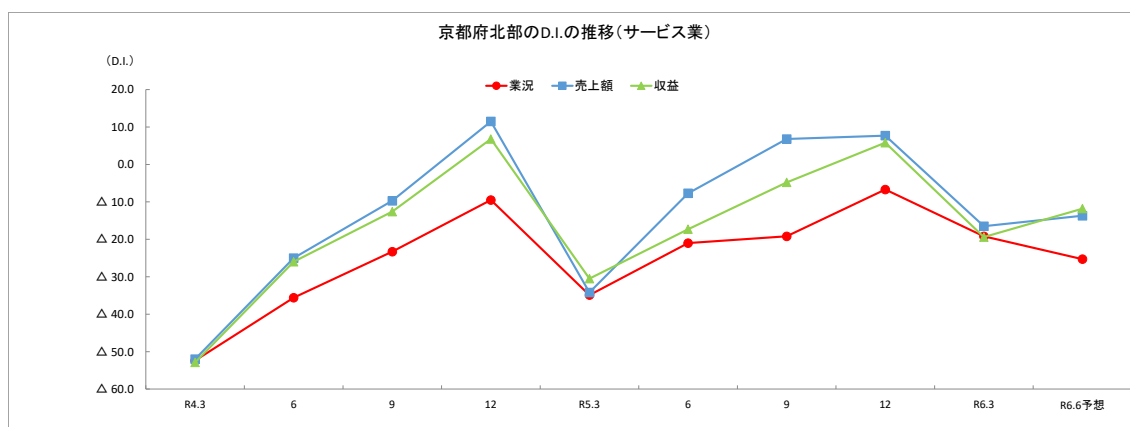
■ サービス業のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 34.9	△ 21.0	△ 19.2	△ 6.7	△ 19.2	△ 12.5	△ 25.3
売上額	△ 34.2	△ 7.7	6.8	7.7	△ 16.5	△ 24.2	△ 13.7
収益	△ 30.5	△ 17.3	△ 4.8	5.8	△ 19.4	△ 25.2	△ 11.8
料金価格	15.2	18.4	25.5	27.2	7.8	△ 19.4	2.0
材料価格	70.9	61.6	65.5	62.8	48.5	△ 14.3	38.0
資金繰り	△ 20.0	△ 15.4	△ 14.7	△ 9.6	△ 16.5	△ 6.9	△ 15.7
前年同期比売上額	4.8	4.9	2.9	△ 3.9	△ 1.9	2.0	-
前年同期比収益	△ 16.2	△ 8.7	△ 8.9	△ 7.8	△ 9.7	△ 1.9	-
残業時間	2.8	1.0	0.0	4.9	0.0	△ 4.9	△ 6.8
人手	△ 42.5	△ 35.6	△ 42.3	△ 49.0	△ 38.5	10.5	△ 42.2
借入実施割合 (%)	14.3	11.8	16.3	21.2	25.5	4.3	17.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成31年3月期の△3.9、最低値：令和2年6月期の△81.6

- ・ サービス業の今期の業況判断D.I.は、前期比12.5ポイント低下の△19.2となりました。
- ・ 業種分類別（回答数上位3業種）では、「旅館、その他の宿泊所」が同23.5ポイント低下の△3.5、「その他のサービス業」が同9.5ポイント低下の△26.7、「自動車整備および駐車場業」が同3.3ポイント低下の△20.0となりました。
- ・ 売上額判断D.I.は、同24.2ポイント低下の△16.5となりました。
- ・ 収益判断D.I.は、同25.2ポイント低下の△19.4となりました。
- ・ 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比6.1ポイント低下の△25.3とやや悪化する見通しです。



■ サービス業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
人手不足	44.2 (①49.0)	人材の確保	49.0 (①49.0)
売上の停滞・減少	42.3 (③39.4)	販路の拡張	46.2 (③38.5)
材料価格の上昇	30.8 (②40.4)	経費の節減	44.2 (②45.2)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑥ 建設業

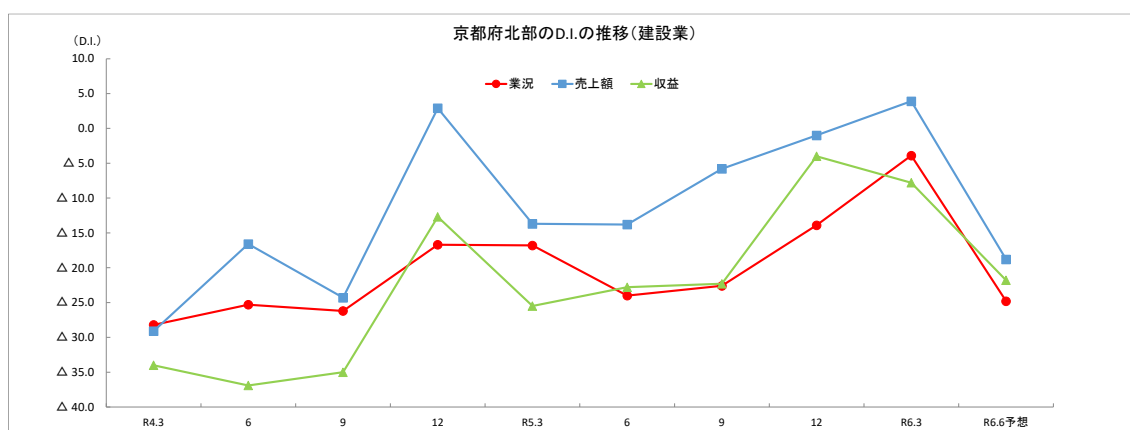
■ 建設業のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 16.8	△ 24.0	△ 22.6	△ 13.9	△ 3.9	10.0	△ 24.8
売上額	△ 13.7	△ 13.8	△ 5.8	△ 1.0	3.9	4.9	△ 18.8
受注残	△ 17.7	△ 23.7	△ 10.7	2.0	△ 25.5	△ 27.5	△ 33.7
施工高	△ 15.7	△ 25.7	△ 11.7	6.9	2.9	△ 4.0	△ 18.8
収益	△ 25.5	△ 22.8	△ 22.3	△ 4.0	△ 7.8	△ 3.8	△ 21.8
請負価格	△ 4.9	10.9	13.6	19.8	11.8	△ 8.0	△ 5.9
材料価格	79.4	74.3	59.8	62.4	55.9	△ 6.5	48.5
在庫	1.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	3.0
資金繰り	△ 18.6	△ 7.9	△ 18.4	△ 13.9	△ 7.8	6.1	△ 15.8
前年同期比売上額	△ 16.7	△ 12.9	△ 11.7	△ 13.0	△ 16.7	△ 3.7	-
前年同期比収益	△ 33.3	△ 21.8	△ 22.3	△ 15.0	△ 20.6	△ 5.6	-
残業時間	1.0	△ 23.8	△ 14.7	△ 5.0	1.0	6.0	△ 11.0
人手	△ 47.1	△ 40.6	△ 48.5	△ 46.0	△ 44.6	1.4	△ 45.0
借入実施割合 (%)	23.8	27.7	31.4	27.7	34.3	6.6	26.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成25年12月期の15.3、最低値：平成21年6月期の△56.5

- 建設業の今期の業況判断D.I.は、前期比10.0ポイント上昇の△3.9となりました。
- 請負先別（回答数上位3先）では、「官公庁」が同7.1ポイント上昇の11.9、「中小企業」が同14.1ポイント上昇の△10.0、「個人」が同4.2ポイント低下の△25.0となりました。
- 売上額判断D.I.は、同4.9ポイント上昇の3.9となりました。
- 収益判断D.I.は、同3.8ポイント低下の△7.8となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比20.9ポイント低下の△24.8と悪化する見通しです。



■ 建設業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
材料価格の上昇	54.9 (①60.4)	人材の確保	51.0 (①50.5)
人手不足	52.9 (②45.5)	経費の節減	41.2 (②39.6)
売上の停滞・減少	38.2 (③33.7)	販路の拡張	37.3 (③37.6)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑦ 不動産業

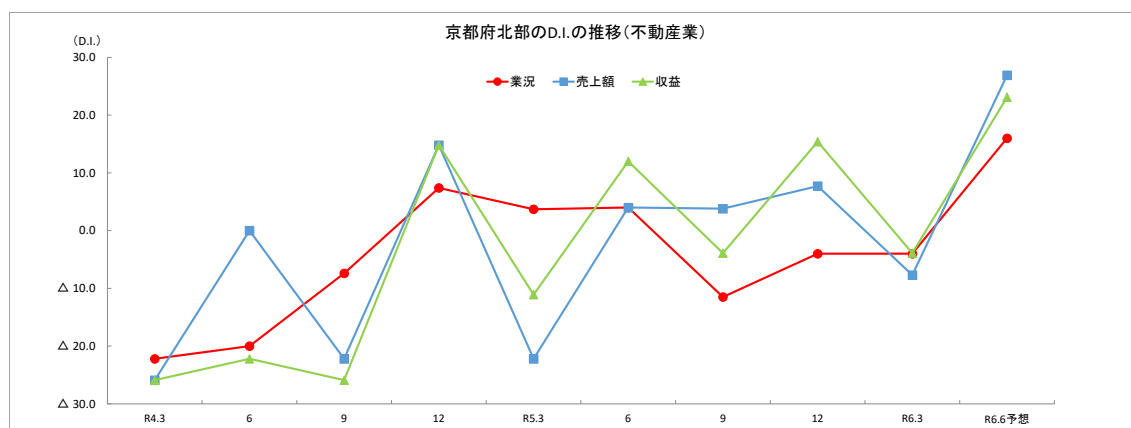
■ 不動産業のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	3.7	4.0	△ 11.5	△ 4.0	△ 4.0	0.0	16.0
売上額	△ 22.2	4.0	3.8	7.7	△ 7.7	△ 15.4	26.9
収益	△ 11.1	12.0	△ 3.9	15.4	△ 3.9	△ 19.3	23.1
販売価格	3.8	4.3	8.0	△ 12.0	0.0	12.0	16.0
仕入価格	28.0	22.5	8.3	8.4	4.2	△ 4.2	4.2
在庫	△ 28.0	△ 17.4	△ 45.8	△ 20.8	△ 29.2	△ 8.4	△ 33.3
資金繰り	11.5	8.3	0.0	8.0	4.0	△ 4.0	4.0
前年同期比売上額	7.4	△ 16.0	△ 11.5	△ 19.2	△ 11.5	7.7	-
前年同期比収益	11.1	△ 12.0	△ 11.5	△ 23.1	△ 7.7	15.4	-
残業時間	0.0	△ 4.0	△ 11.5	△ 15.4	△ 7.7	7.7	△ 3.8
人手	△ 11.1	△ 16.0	△ 19.2	△ 23.1	△ 15.4	7.7	△ 15.4
借入実施割合 (%)	33.3	28.0	26.9	30.8	26.9	△ 3.9	42.3

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成27年6月期の40.7、最低値：平成21年12月期の△59.1

- 不動産業の今期の業況判断D.I.は、前期比横ばいの△4.0となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建売業・土地売買業」が同18.2ポイント低下の0.0、「不動産代理業・仲介業」が同31.9ポイント低下の△44.4、「貸事務所・土地賃貸業」が同66.6ポイント上昇の33.3となりました。
- 売上額判断D.I.は、同15.4ポイント低下の△7.7となりました。
- 収益判断D.I.は、同19.3ポイント低下の△3.9となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比20.0ポイント上昇の16.0と改善する見通しです。



■ 不動産業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
商品物件の不足	48.0 (④32.0)	情報力の強化	68.0 (①68.0)
同業者間の競争の激化	44.0 (①44.0)	宣伝・広告の強化	48.0 (②44.0)
利幅の縮小	36.0 (②36.0)	販路の拡張	40.0 (③36.0)
売上の停滞・減少	36.0 (②36.0)	—	—

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

3. 地区別の景況

① 丹後地区

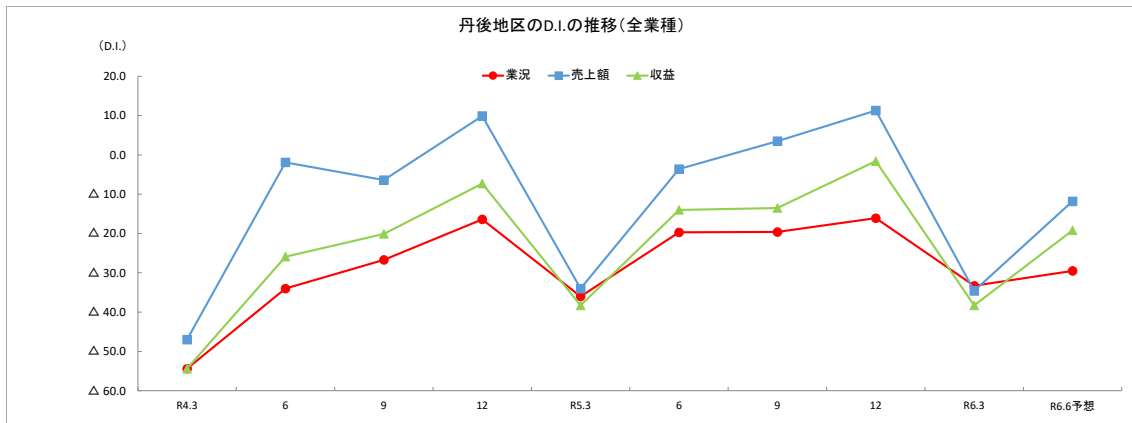
■ 丹後地区のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 36.0	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	△ 33.3	△ 17.2	△ 29.5
売上額	△ 34.0	△ 3.6	3.5	11.3	△ 34.6	△ 45.9	△ 11.8
収益	△ 38.3	△ 14.0	△ 13.5	△ 1.6	△ 38.3	△ 36.7	△ 19.2
販売・請負価格	28.4	26.8	28.3	37.0	15.5	△ 21.5	10.4
仕入・材料価格	66.9	58.7	60.0	56.5	46.4	△ 10.1	41.6
在庫	8.3	7.1	0.6	3.3	2.0	△ 1.3	1.4
資金繰り	△ 23.0	△ 14.1	△ 15.7	△ 13.5	△ 20.6	△ 7.1	△ 19.8
前年同期比売上額	5.0	8.0	8.5	3.6	△ 12.8	△ 16.4	-
前年同期比収益	△ 23.8	△ 6.0	△ 9.0	△ 10.4	△ 27.0	△ 16.6	-
残業時間	△ 3.5	△ 9.7	△ 5.6	2.6	△ 3.1	△ 5.7	△ 9.8
人手	△ 33.7	△ 31.0	△ 32.5	△ 36.8	△ 29.9	6.9	△ 31.1
借入実施割合 (%)	12.1	14.8	17.1	22.7	24.1	1.4	17.2

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.9、最低値：平成21年3月期の△79.5

- 丹後地区の今期の業況判断D.I.は、前期比17.2ポイント低下の△33.3となりました。
- 売上額判断D.I.は、同45.9ポイント低下の34.6となりました。
- 収益判断D.I.は、同36.7ポイント低下の△38.3となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比3.8ポイント上昇の△29.5とやや改善する見通しです。



■ 丹後地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	43.1 (①38.9)	経費の節減	44.6 (①44.6)
人手不足	37.9 (②36.3)	人材の確保	39.0 (②40.9)
原材料高	25.6 (③31.6)	販路の拡張	33.3 (③28.5)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 舞鶴地区

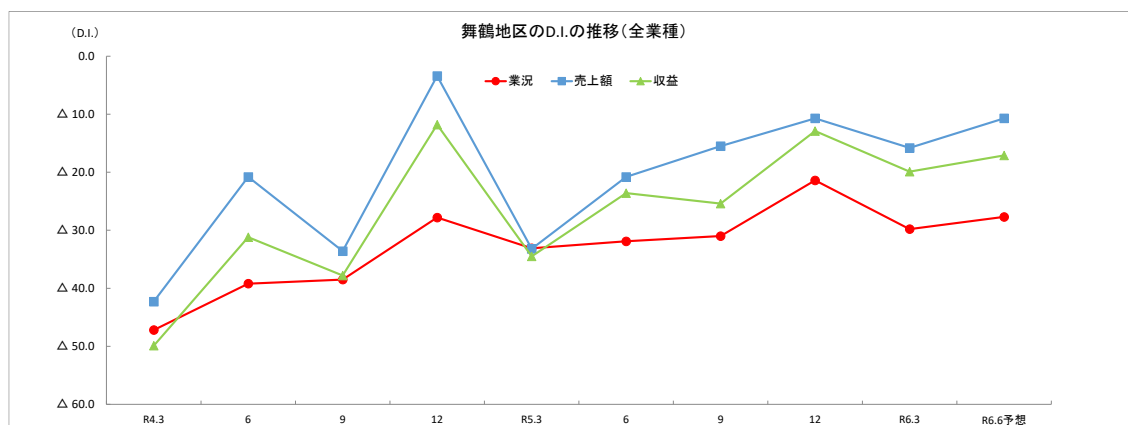
■ 舞鶴地区のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 33.1	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	△ 29.8	△ 8.4	△ 27.7
売上額	△ 33.2	△ 20.8	△ 15.5	△ 10.7	△ 15.8	△ 5.1	△ 10.7
収益	△ 34.5	△ 23.6	△ 25.4	△ 12.9	△ 19.9	△ 7.0	△ 17.1
販売・請負価格	20.1	20.4	24.1	20.7	17.1	△ 3.6	14.3
仕入・材料価格	70.7	56.4	57.5	51.1	41.1	△ 10.0	41.8
在庫	5.4	1.8	2.8	0.9	2.8	1.9	1.9
資金繰り	△ 22.1	△ 23.6	△ 26.2	△ 24.8	△ 21.3	3.5	△ 18.4
前年同期比売上額	△ 13.2	△ 11.8	△ 12.0	△ 21.4	△ 9.9	11.5	-
前年同期比収益	△ 29.2	△ 25.7	△ 23.2	△ 21.4	△ 7.1	14.3	-
残業時間	△ 0.7	△ 11.2	△ 6.4	2.9	△ 5.8	△ 8.7	△ 7.9
人手	△ 30.6	△ 29.9	△ 31.2	△ 39.0	△ 30.7	8.3	△ 34.8
借入実施割合 (%)	19.3	20.1	19.1	18.4	20.0	1.6	16.5

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年6月期の△12.5、最低値：令和2年6月期の△67.6

- 舞鶴地区の今期の業況判断D.I.は、前期比8.4ポイント低下の△29.8となりました。
- 売上額判断D.I.は、同5.1ポイント低下の△15.8となりました。
- 収益判断D.I.は、同7.0ポイント低下の△19.9となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比2.1ポイント上昇の△27.7とやや改善する見通しです。



■ 舞鶴地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	53.9 (①51.4)	経費の節減	45.4 (①48.6)
人手不足	33.3 (③27.9)	販路の拡張	36.2 (③33.6)
原材料高	26.2 (②32.9)	人材の確保	31.2 (②36.4)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 福知山・綾部地区

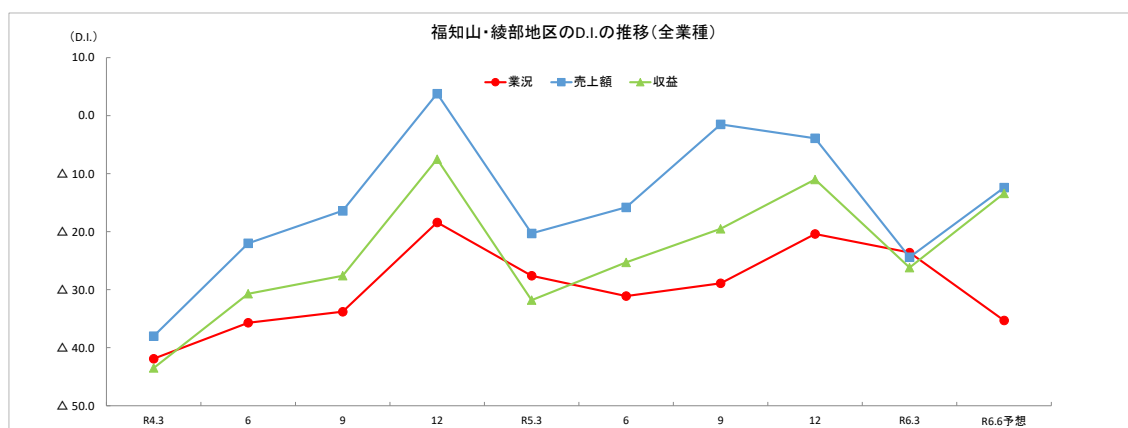
■ 福知山・綾部地区のD.I.の推移

調査時期	R5.3	6	9	12	R6.3	前期比	来期予想
業況※	△ 27.6	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	△ 23.6	△ 3.2	△ 35.3
売上額	△ 20.3	△ 15.8	△ 1.5	△ 3.9	△ 24.4	△ 20.5	△ 12.4
収益	△ 31.8	△ 25.3	△ 19.5	△ 11.0	△ 26.2	△ 15.2	△ 13.4
販売・請負価格	18.0	20.0	23.9	26.4	19.0	△ 7.4	15.3
仕入・材料価格	70.3	61.9	59.0	54.3	51.9	△ 2.4	46.9
在庫	3.9	△ 1.7	△ 1.2	1.7	△ 1.1	△ 2.8	△ 1.2
資金繰り	△ 22.5	△ 15.6	△ 17.2	△ 13.9	△ 21.1	△ 7.2	△ 19.2
前年同期比売上額	△ 12.8	△ 10.8	△ 10.4	△ 15.0	△ 23.1	△ 8.1	-
前年同期比収益	△ 29.4	△ 20.2	△ 25.2	△ 27.1	△ 22.6	4.5	-
残業時間	△ 3.3	△ 11.7	△ 8.5	△ 6.7	△ 8.6	△ 1.9	△ 5.7
人手	△ 31.0	△ 26.7	△ 27.2	△ 28.4	△ 28.9	△ 0.5	△ 32.5
借入実施割合 (%)	16.6	18.0	20.9	19.8	20.0	0.2	17.9

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成17年9月期の△3.5、最低値：令和2年6月期の△64.1

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D.I.は、前期比3.2ポイント低下の△23.6となりました。
- 売上額判断D.I.は、同20.5ポイント低下の△24.4となりました。
- 収益判断D.I.は、同15.2ポイント低下の△26.2となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比11.7ポイント低下の△35.3と悪化する見通しです。



■ 福知山・綾部地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	48.6 (①47.1)	経費の節減	52.9 (①46.1)
人手不足	32.7 (②31.6)	販路の拡張	33.2 (②34.5)
原材料高	25.0 (③30.1)	人材の確保	31.7 (③29.1)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

4. 特別調査 「中小企業における人材戦略について」

問1 貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。1～0の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

現在の人材の状況について懸念していること

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 若手が不足している	89	69	104	262
2 高齢化が進んでいる	110	68	84	262
3 熟練者が不足している	37	18	47	102
4 業務上必要な資格取得者が不足している	11	9	14	34
5 生産、販売現場で働く従業員が少ない	29	21	23	73
6 営業で働く従業員が少ない	30	28	25	83
7 経理や事務などで働く内部の従業員が少ない	14	7	12	33
8 管理職（店長、現場監督など含む）が少ない	15	7	14	36
9 規模（売上や利益）と比較して人員が多すぎる	8	3	5	16
0 懸念していることはない	34	24	42	100
回答者数	193	137	211	541

単位：%

1 若手が不足している	46.1	50.4	49.3	48.4
2 高齢化が進んでいる	57.0	49.6	39.8	48.4
3 熟練者が不足している	19.2	13.1	22.3	18.9
4 業務上必要な資格取得者が不足している	5.7	6.6	6.6	6.3
5 生産、販売現場で働く従業員が少ない	15.0	15.3	10.9	13.5
6 営業で働く従業員が少ない	15.5	20.4	11.8	15.3
7 経理や事務などで働く内部の従業員が少ない	7.3	5.1	5.7	6.1
8 管理職（店長、現場監督など含む）が少ない	7.8	5.1	6.6	6.7
9 規模（売上や利益）と比較して人員が多すぎる	4.1	2.2	2.4	3.0
0 懸念していることはない	17.6	17.5	19.9	18.5

※ 複数回答のため、回答者数で構成比を算出しています。

問2 今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、1～9の中から3つ選んでお答えください。

人材に関する対応策

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 新卒採用の強化	48	30	49	127
2 中途採用の強化	86	60	95	241
3 シニア雇用（定年・再雇用）の促進	35	22	34	91
4 女性活躍推進	25	24	32	81
5 非正規社員の活用	28	15	22	65
6 非正規社員の正社員登用	5	4	4	13
7 外国人の活用	23	6	12	41
8 その他	1	4	2	7
9 特に対応策を検討していない	66	57	79	202
回答者数	191	139	209	539

単位：%

1 新卒採用の強化	25.1	21.6	23.4	23.6
2 中途採用の強化	45.0	43.2	45.5	44.7
3 シニア雇用（定年・再雇用）の促進	18.3	15.8	16.3	16.9
4 女性活躍推進	13.1	17.3	15.3	15.0
5 非正規社員の活用	14.7	10.8	10.5	12.1
6 非正規社員の正社員登用	2.6	2.9	1.9	2.4
7 外国人の活用	12.0	4.3	5.7	7.6
8 その他	0.5	2.9	1.0	1.3
9 特に対応策を検討していない	34.6	41.0	37.8	37.5

※ 複数回答のため、回答者数で構成比を算出しています。

問3 貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練（O J T）以外の取組みを実施していますか。1～9の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。実施していない方は0を選択してください。

人材育成におけるO J T以外の取組状況

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）	38	33	43	114
2 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間外）	12	8	5	25
3 資格取得等、自己啓発費用の会社負担	43	43	42	128
4 担当業務の定期的な異動	6	7	4	17
5 eラーニングの導入	4	3	6	13
6 業界団体の研修に参加	33	31	32	96
7 外部セミナーへの参加	24	13	32	69
8 外部講師の派遣依頼	5	2	5	12
9 外部出向制度の導入	1	2	0	3
0 実施していない	101	65	108	274
回答者数	192	140	203	535

単位：%

1 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）	19.8	23.6	21.2	21.3
2 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間外）	6.3	5.7	2.5	4.7
3 資格取得等、自己啓発費用の会社負担	22.4	30.7	20.7	23.9
4 担当業務の定期的な異動	3.1	5.0	2.0	3.2
5 eラーニングの導入	2.1	2.1	3.0	2.4
6 業界団体の研修に参加	17.2	22.1	15.8	17.9
7 外部セミナーへの参加	12.5	9.3	15.8	12.9
8 外部講師の派遣依頼	2.6	1.4	2.5	2.2
9 外部出向制度の導入	0.5	1.4	0.0	0.6
0 実施していない	52.6	46.4	53.2	51.2

※ 複数回答のため、回答者数で構成比を算出しています。

問4 貴社では、人材定着などに向けて、2024 年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む。）しますか。引上げる方はその賃金引上げ率について、引上げない方は引上げなかった理由について、それぞれお答えください。

2024 年中の賃金引上げ状況

（定期昇給分除く、賞与や一時金除く、予定を含む）

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
賃金を引き上げた（引上げ率）	78	59	85	222
1 0%以上2%未満	38	33	38	109
2 2%以上4%未満	29	18	36	83
3 4%以上6%未満	9	8	9	26
4 6%以上	2	0	2	4
賃金を引き上げなかった（理由）	112	79	118	309
5 賃上げに見合う価格転嫁ができてない	25	11	28	64
6 同業や同地域内の他社が上げていない	2	1	2	5
7 今後の業績見通しが不透明	17	17	28	62
8 売上の低迷や伸び悩み	15	10	12	37
9 これまでに賃金を引上げ済み	26	25	18	69
0 自社に従業員はいない（家族経営など）	27	15	30	72
合計	190	138	203	531

単位：%

賃金を引き上げた（引上げ率）	41.1	42.8	41.9	41.8
1 0%以上2%未満	20.0	23.9	18.7	20.5
2 2%以上4%未満	15.3	13.0	17.7	15.6
3 4%以上6%未満	4.7	5.8	4.4	4.9
4 6%以上	1.1	0.0	1.0	0.8
賃金を引き上げなかった（理由）	58.9	57.2	58.1	58.2
5 賃上げに見合う価格転嫁ができてない	13.2	8.0	13.8	12.1
6 同業や同地域内の他社が上げていない	1.1	0.7	1.0	0.9
7 今後の業績見通しが不透明	8.9	12.3	13.8	11.7
8 売上の低迷や伸び悩み	7.9	7.2	5.9	7.0
9 これまでに賃金を引上げ済み	13.7	18.1	8.9	13.0
0 自社に従業員はいない（家族経営など）	14.2	10.9	14.8	13.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問5 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります（2024年問題）。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。1～5の中から選んでお答えください。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。6～8の中から選んでお答えください。

2024年問題にかかる業務への影響とその対応状況

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
影響	186	138	203	527
1 大きく悪影響がある	9	10	11	30
2 やや悪影響がある	44	39	44	127
3 影響はない・わからない	131	85	147	363
4 やや好影響がある	2	2	1	5
5 大きく好影響がある	0	2	0	2
対応	181	133	193	507
6 対応を取った	22	18	21	61
7 必要性は感じているが対応していない	61	49	72	182
8 対応を取る必要はない	98	66	100	264

単位：%

影響	100.0	100.0	100.0	100.0
1 大きく悪影響がある	4.8	7.2	5.4	5.7
2 やや悪影響がある	23.7	28.3	21.7	24.1
3 影響はない・わからない	70.4	61.6	72.4	68.9
4 やや好影響がある	1.1	1.4	0.5	0.9
5 大きく好影響がある	0.0	1.4	0.0	0.4
対応	100.0	100.0	100.0	100.0
6 対応を取った	12.2	13.5	10.9	12.0
7 必要性は感じているが対応していない	33.7	36.8	37.3	35.9
8 対応を取る必要はない	54.1	49.6	51.8	52.1

(問い合わせ先) 京都北都信用金庫 経営企画部 経営企画課
 〒626-0041 京都府宮津市宇鶴賀2054-1
 TEL: 0772-22-5121 (代表)
 FAX: 0772-22-7941
 URL: <http://www.hokuto-shinkin.co.jp/>

※ 単位未満四捨五入のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※ ほくとしんきん中小企業景況レポートの内容は著作権法により保護されていますので、引用・転載・複製等を無断で行うことはご遠慮ください。